

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成30年2月14日
【四半期会計期間】	第128期第3四半期（自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日）
【会社名】	イソライト工業株式会社
【英訳名】	Isolite Insulating Products Company, Limited
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 窪田 行利
【本店の所在の場所】	大阪市北区中之島三丁目3番23号
【電話番号】	06 - 7711 - 5801（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 前田 真哉
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区中之島三丁目3番23号
【電話番号】	06 - 7711 - 5801（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 前田 真哉
【縦覧に供する場所】	イソライト工業株式会社東京支店 （東京都千代田区神田須田町二丁目8番地） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第127期 第3四半期連結 累計期間	第128期 第3四半期連結 累計期間	第127期
会計期間		自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 12月31日	自 平成29年 4月 1日 至 平成29年 12月31日	自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日
売上高	(百万円)	10,673	12,641	14,566
経常利益	(百万円)	1,482	2,660	2,086
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	(百万円)	989	1,835	1,422
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	835	2,142	1,494
純資産額	(百万円)	8,829	11,442	9,488
総資産額	(百万円)	17,324	19,258	17,539
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	42.04	77.94	60.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	48.4	56.4	51.2

回次		第127期 第3四半期連結 会計期間	第128期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成28年 10月 1日 至 平成28年 12月31日	自 平成29年 10月 1日 至 平成29年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	17.39	25.70

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が好調に推移し、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費も緩やかに持ち直しているなか、引き続き回復基調で推移しました。

一方、海外経済は総じて堅調に推移しているものの、地政学リスクの高まり、米国における保護主義的な政策及び為替相場・株式市場の変動など景気の先行きは不透明な状況が続くものと考えられます。

わが国の鉱工業生産は、輸出の回復や設備投資が堅調に推移したことなどにより上昇傾向となり、当社グループにおきましても、工業炉分野及び自動車関連分野を中心に販売が好調となりました。

このような環境のもと、当社グループは高付加価値製品の拡販及び製造コストの削減に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高126億41百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益25億67百万円（同62.8%増）、経常利益26億60百万円（同79.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益18億35百万円（同85.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(断熱関連事業)

セラミックファイバー製品は高付加価値のRCF（リフラクトリーセラミックファイバー）作業環境規制対策品及び自動車関連製品の売上が好調でありました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は115億13百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

(その他)

機能性セラミックス製品及び建設関連資材の売上が前年同期を上回りました。環境緑化製品につきましては、微減となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11億27百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2億42百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	51,259,000
計	51,259,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成30年2月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	23,606,573	23,606,573	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	23,606,573	23,606,573	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成29年10月1日～ 平成29年12月31日	-	23,606	-	3,196	-	904

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成29年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 55,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 23,546,400	235,464	-
単元未満株式	普通株式 4,773	-	-
発行済株式総数	23,606,573	-	-
総株主の議決権	-	235,464	-

【自己株式等】

平成29年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イソライト工業株式会社	大阪市北区中之島 三丁目3番23号	55,400	-	55,400	0.23
計	-	55,400	-	55,400	0.23

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,823	3,185
受取手形及び売掛金	4,608	5,817
商品及び製品	1,660	1,483
仕掛品	245	398
原材料及び貯蔵品	503	517
繰延税金資産	166	131
その他	322	370
貸倒引当金	3	3
流動資産合計	10,327	11,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,450	1,396
機械装置及び運搬具(純額)	1,184	1,187
土地	2,179	2,187
その他(純額)	185	206
有形固定資産合計	4,999	4,977
無形固定資産		
無形固定資産	138	175
投資その他の資産		
投資有価証券	1,244	1,528
繰延税金資産	77	90
その他	866	687
貸倒引当金	115	100
投資その他の資産合計	2,073	2,206
固定資産合計	7,211	7,359
資産合計	17,539	19,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,522	3 1,807
短期借入金	2,729	1,905
1年内償還予定の社債	40	-
未払法人税等	305	361
賞与引当金	317	199
その他	868	905
流動負債合計	5,783	5,178
固定負債		
長期借入金	1,090	1,395
その他の引当金	75	57
退職給付に係る負債	605	636
その他	495	548
固定負債合計	2,267	2,637
負債合計	8,051	7,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,196	3,196
資本剰余金	2,254	2,254
利益剰余金	3,429	5,076
自己株式	10	11
株主資本合計	8,869	10,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338	520
為替換算調整勘定	217	157
退職給付に係る調整累計額	5	21
その他の包括利益累計額合計	115	341
非支配株主持分	503	583
純資産合計	9,488	11,442
負債純資産合計	17,539	19,258

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日)
売上高	10,673	12,641
売上原価	6,694	7,521
売上総利益	3,979	5,119
販売費及び一般管理費	2,401	2,552
営業利益	1,577	2,567
営業外収益		
受取利息	10	13
受取配当金	26	31
持分法による投資利益	34	55
為替差益	-	14
その他	49	47
営業外収益合計	121	163
営業外費用		
支払利息	34	20
休止固定資産減価償却費	17	15
為替差損	124	-
その他	39	33
営業外費用合計	216	69
経常利益	1,482	2,660
税金等調整前四半期純利益	1,482	2,660
法人税、住民税及び事業税	395	734
法人税等調整額	69	24
法人税等合計	465	759
四半期純利益	1,016	1,901
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	989	1,835

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,016	1,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	182
為替換算調整勘定	328	62
退職給付に係る調整額	12	13
持分法適用会社に対する持分相当額	44	9
その他の包括利益合計	181	240
四半期包括利益	835	2,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	883	2,062
非支配株主に係る四半期包括利益	48	80

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

次の関係会社について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
Foster Engineering Pte.Ltd.	80百万円	42百万円

2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	27百万円	28百万円

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
受取手形	- 百万円	259百万円
支払手形	-	24

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
減価償却費	322百万円	319百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年 6月28日 定時株主総会	普通株式	70	3.00	平成28年 3月31日	平成28年 6月29日	利益剰余金
平成28年11月 2日 取締役会	普通株式	47	2.00	平成28年 9月30日	平成28年12月 2日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年 6月28日 定時株主総会	普通株式	94	4.00	平成29年 3月31日	平成29年 6月29日	利益剰余金
平成29年11月 2日 取締役会	普通株式	94	4.00	平成29年 9月30日	平成29年12月 1日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	断熱関連事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	9,698	9,698	972	10,671	1	10,673
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	10	10	10	-
計	9,698	9,698	983	10,682	9	10,673
セグメント利益	1,521	1,521	53	1,575	1	1,577

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境緑化事業、建材事業等を含んでおります。

- 外部顧客への売上高の調整額1百万円は、持分法適用会社に係る調整であります。セグメント利益の調整額1百万円は、持分法適用会社に係る調整及びセグメント間取引であります。
- セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	断熱関連事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	11,513	11,513	1,127	12,641	0	12,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	19	19	19	-
計	11,513	11,513	1,147	12,660	19	12,641
セグメント利益	2,459	2,459	106	2,565	1	2,567

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境緑化事業、建材事業等を含んでおります。

- 外部顧客への売上高の調整額0百万円は、持分法適用会社に係る調整であります。セグメント利益の調整額1百万円は、持分法適用会社に係る調整及びセグメント間取引であります。
- セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	42.04円	77.94円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	989	1,835
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	989	1,835
普通株式の期中平均株式数(千株)	23,551	23,551

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成29年11月2日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当の総額.....94百万円

(ロ) 1株当たりの金額..... 4.00円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成29年12月1日

(注) 平成29年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年2月14日

イソライト工業株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅野 豊 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 芦川 弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイソライト工業株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年10月1日から平成29年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イソライト工業株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていない。